

血中酸素測定 患者危険察知へ貸与



# パルスオキシメーター

## 保健所 未返却に苦心

**デルタ株の脅威**  
緊急事態 静岡

パルスオキシメーターは指先に挟み、血中の酸素飽和度を測定で

### 不足防げ 病院回収 自治体も購入

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、自宅療養中の患者に向けて病状把握のために貸し出す機器「パルスオキシメーター」の確保が課題となっている。現在は主に県内の保健所から貸与されているが、患者の急増や機器の未返却によって一時、貸し出しを制限した地域もあった。各保健所は返却の徹底を呼び掛けて不足の防止に努めているほか、一部の市では保健所に代わって機器を用意する動きも出ている。

重症化の危険を察知するために、酸素投与の必要性などを判断する指標として経過観察で使用する。磐田市など7市町を管轄する県西部保健所では機器を郵送で貸し出している。療養期間の終了後には返却を呼び掛けるが、8日時点

で総数約1500個のおよそ5割が未返却。保健所では原則、自宅療養者全員に配っているが、感染者が急増した際は基礎疾患がある人らに制限せざるを得なかった。

9月から管内の総合病院で貸し出しと回収を

直接行い、機器が効率よく患者に行き渡る取り組みを始めた。磐田市立総合病院では時間外出入り口にボックスを設け、24時間の返却を可能にした。鈴木昌八病院長(65)は「次の命を守るためにも、療



時間外出入り口に設置したパルスオキシメーター回収ボックス。24時間返却が可能になった＝8日、磐田市立総合病院

は感染者の急増を受け、パルスオキシメーター1100台を購入し、自宅療養者支援のための貸与を始めた。配送費は市が負担し、郵便で希望者の自宅に届ける。市担当者は「希望者に行き渡るようにして療養中の安心につなげたい」と話す。島田市や菊川市でも貸し出しを行う。(磐田支局・太田達也)